HDDナビゲーション内蔵 HDD／DVD／MS 7.0 AVシステム

AVN 557HD

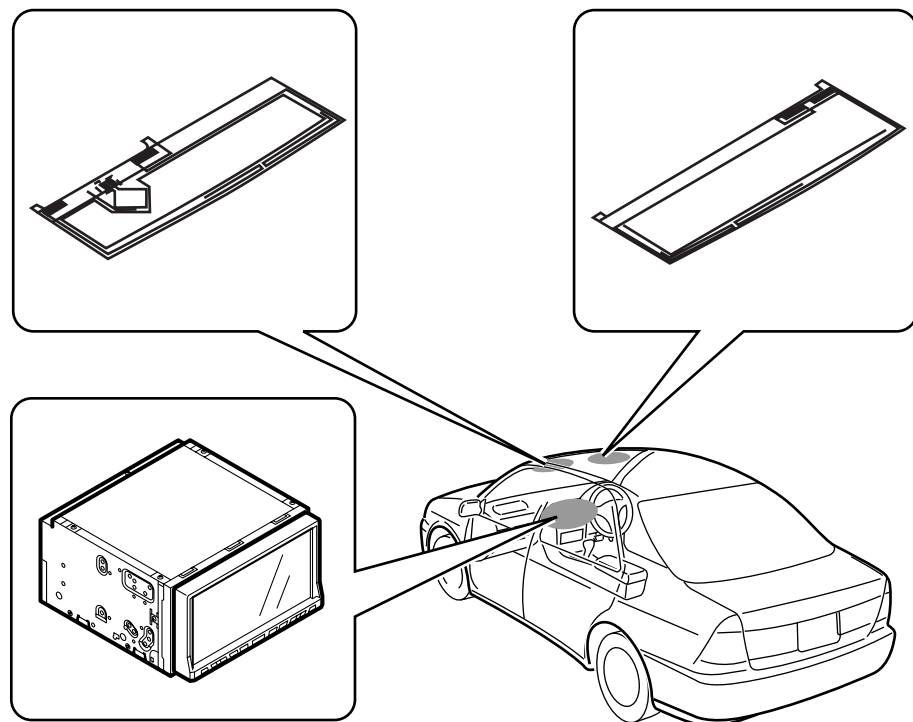
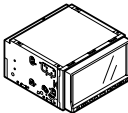
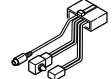
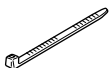
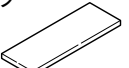
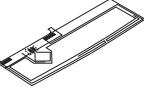
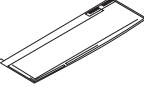
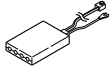
取付説明書

090003-2977A700

お客さまへのお願い

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
「取扱説明書」、**「取付説明書」**をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ー販売店様へー
取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図

●構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

●本体関係

❶ メインユニット ×1	❷ 接続コード（16Ｐ） ×1	❸ 接続コード（24Ｐ） ×1
❹ 接続コード（24Ｐ） ×1	❺ 六角ボルト（赤色）（M5×8） ×4	❻ 皿ねじ（赤色）（M5×8） ×8
❼ バンドクランプ ×7	❽ ハーネス固定テープ ×3	❾ ショートコネクタ ×3

●フィルムアンテナ関係

❿ フィルムアンテナ（左） ×1	⓫ フィルムアンテナ（右） ×1	⓬ TVアンテナコード（左） ×1
⓭ TVアンテナコード（右） ×1	⓮ GPSアンテナコード ×1	⓯ アンテナセレクタ ×1
⓰ 両面テープ（50×75） ×1	⓱ アースシート（2シート） ×1	⓲ クリーナ（布） ×2
⓳ ヘラ ×1		

※その他の構成部品（取扱説明書、取付説明書、保証書などの資料類）

●作業の進め方

1）構成部品の確認 （☞構成部品）
2）バッテリーの⊖端子を外す
3）接続を確認する （☞接続のしかた）（☞システム接続例）
4）フィルムアンテナを取り付ける （☞フィルムアンテナ取り付け上のご注意）
5）メインユニットを取り付ける （☞メインユニットを取り付ける前に）
6）配線する
7）バッテリーのマイナス端子を元に戻す
8）作動確認をする （☞取り付け後の作動確認）

●安全に正しくお使いいただくために

●この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス	本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと

⚠警告

●本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。

●本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

●車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行う。火災の原因となります。

●車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

●取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子をはずす。プラス ⊕ とマイナス ⊖ 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

●本機を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。

●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

●音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

●エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

●ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

●接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

⚠注意

●本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

●必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

●雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

●しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

●直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

●本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

●取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

●車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

●コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

●コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

●本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

●本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

●フィルムTV／GPSアンテナ及びケーブル・コードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。表面処理を傷める原因となります。

●フィルムアンテナ取り付け上のご注意

お願い

●フィルムアンテナを粘着させる（よく乾かせる）為に、先にフィルムアンテナの貼り付け作業を行ってからオーディオ本体（メインユニット等）の作業を行ってください。
また、給電部の貼り付けは、最後に行ってください。

●取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。
必ず指示通りに取り付けてください。

●お車のフロントガラスにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。

アドバイス

●フィルムアンテナは、一度貼付けた後はがしての再貼り付けはできません。
フィルムアンテナの貼付位置を十分に確認して作業を行ってください。

●フィルムアンテナを折り曲げたり、傷をつけないようにしてください。

●このフィルムアンテナは、フロントガラス上部への取り付けのみとなります。
その他の場所への取り付けは性能が確保できませんので行なわないでください。

●取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。

●このフィルムアンテナはカーテレビシステム専用です。（カーラジオには接続できません。）

●フィルムアンテナ及びコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。
表面処理を傷める原因となります。

●フィルムアンテナは非常にデリケートなため作業時の取扱いには十分ご注意ください。

●テレビ、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では受信している周波数以外の電波の影響により、画像・音声が乱れる場合があります。

●山陰や送信所から遠いところ、ビルとビルの谷間等電波状態が悪い所では鮮明な画像が得られないことがあります。

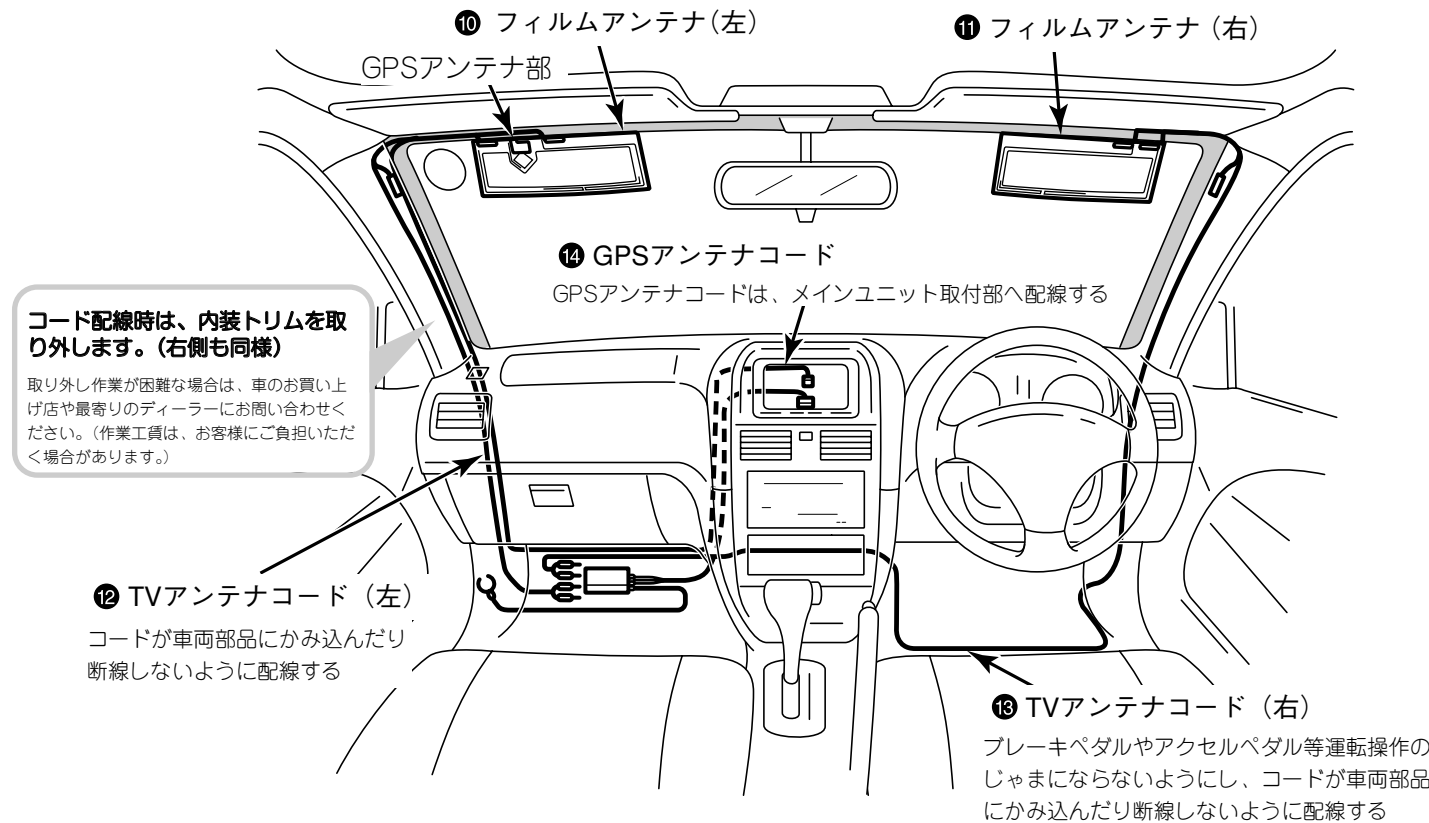
●ワイパー動作、車の電装品動作時にノイズの影響により電界が乱れ、画像が乱れる場合があります。

●一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。
またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

●フィルムアンテナ貼付位置は、車のボディ、ピラー等の金属部分に近付けすぎると性能が悪化する場合がありますので取付説明書の注意事項に従って取付作業を行ってください。

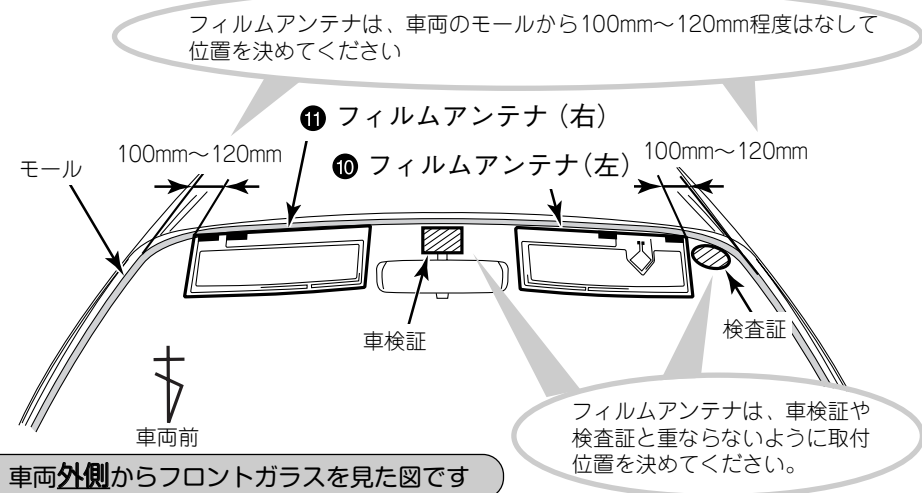
●気温が低い（20℃以下）と給電部の粘着力が弱まります。ヒーター等で車室内を暖めてから貼り付けてください。

フィルムアンテナ取付概要図

TVアンテナコード、GPSアンテナコード、セレクタ出力コード、アースコードの配線概要です。

●フィルムアンテナの貼付位置について

お願い

- ●フィルムアンテナは、フロントガラス内側の上部へ取り付けてください。その他の場所への取り付けは性能が確保できませんので行わないでください。
- ●左ハンドル車の場合でも、フィルムアンテナ（左）（右）は、それぞれ車両の左側、右側に取り付けてください。
- ●フィルムアンテナは、正規の取り付けで性能が確保できるように設計してあります。左右逆に取り付けると性能が劣化する場合があります。

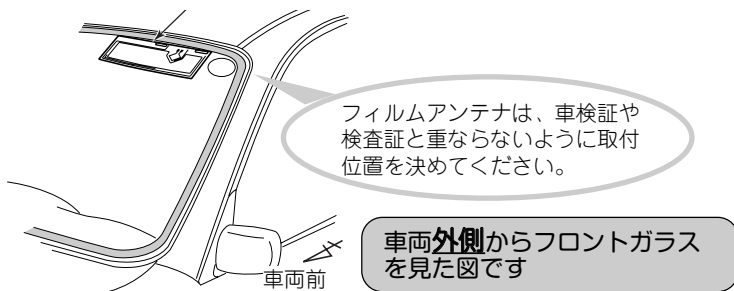
アドバイス

●フィルムアンテナの取り付けについて

アドバイス

- ● フィルムアンテナを黒セラ及び黒セラドットにかかって貼り付けしても問題ありませんが、十分に乾燥後ピックアップを貼り付けしないと、フィルムアンテナはがれの原因となります。
- ● フィルムアンテナの端子ベースが黒セラドットパターンにかかる場合には、給電部の自重によってはがれる場合があります。（十分乾燥した後であれば、問題ありません。）
- ● 黒セラドット部の貼り付け強度は、ガラス面より強度が低下していますので、清掃時は、はがれないよう注意してください。

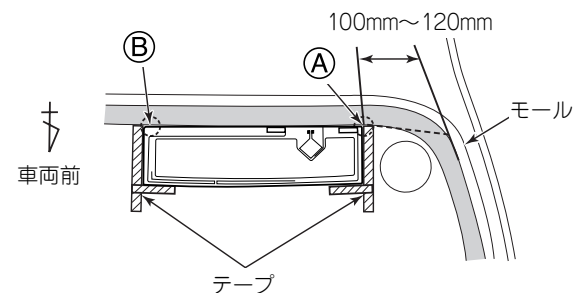
1 フィルムアンテナの貼付位置を決める

① **フロントガラスの外側にフィルムアンテナをあてる。**

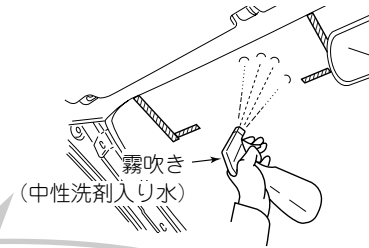
- ●フィルムアンテナは、車検証、検査証と重ならないように位置を決めてください。
- ●フィルムアンテナのハクリ紙をはがさないでください。
- ●フィルムアンテナの取付作業は、左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

② **フィルムアンテナの端子ベース Ⓐ 部および Ⓑ 部を車両の※黒セララインまたは※黒セラドットパターンの最下端に合わせる。**

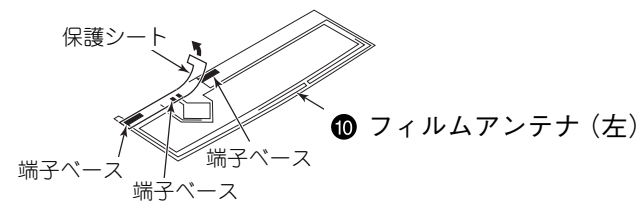
※黒セラライン：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。
※黒セラドットパターン：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット（点々）部分。

③ **フィルムアンテナの左右両端および下端をテープ等でマーキングする。**

- ●テープはフロントガラスに跡形が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。

2 貼付位置のフロントガラス面に水をスプレーする

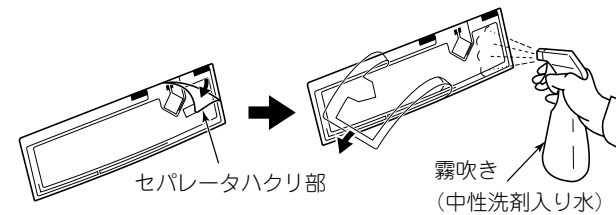
① **車両の内装に水が掛からないようにシートやタオル等で保護する。**

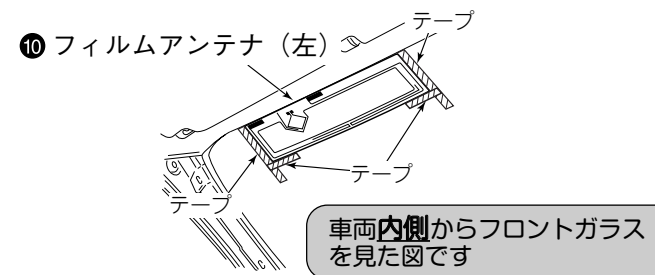
② **車両室内側のフィルムアンテナ取り付け位置のフロントガラス面に、霧吹きでスプレーする。**

3 保護シートを取り外す

① **フィルムアンテナの保護シートを取り外す。**

4 フィルムアンテナのセパレータをはがす

① **フィルムアンテナのセパレータハクリ部からセパレータをはがす。**

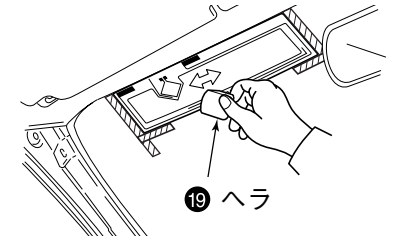
② **フィルムアンテナの貼り付け面に、霧吹きでスプレーする。**

- ●フィルムアンテナの貼り付け面に指紋やホコリ等がつかないように注意してください。
- ●霧吹きは、水400～500mlの水に対し中性洗剤1～2滴を加えた物をご使用ください。

5 フィルムアンテナを貼り付ける

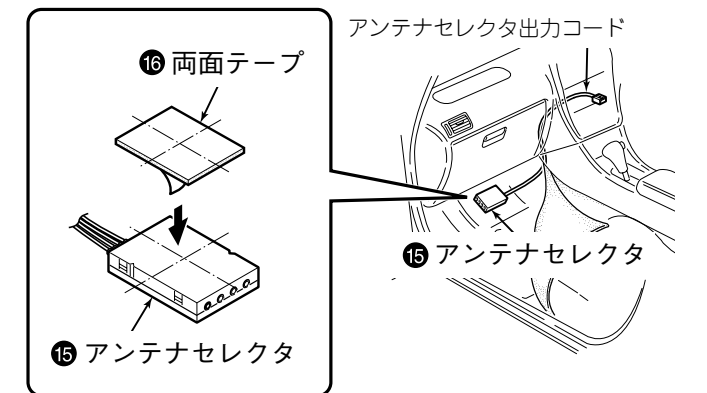
① **マーキング位置に合わせてフィルムアンテナをフロントガラスの 車両内側 に貼り付ける。**

6 フィルムアンテナを定着させる

① **シワやキズが付かないように注意しながらフィルムアンテナとガラス面との間に入った水、気泡を付属のヘラを使って押し出す。**

② **余分な水分を、タオルや柔らかい布などで拭き取る。**

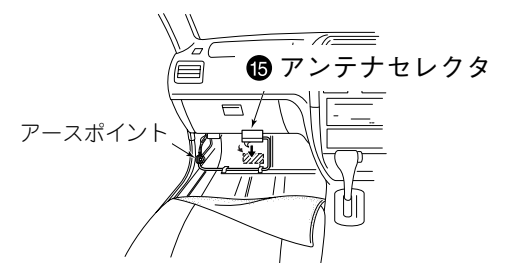
- ●フィルムアンテナが動かないよう押さえながら作業を行ってください。
- ●ドライヤー等で無理に乾かさないでください。フィルムアンテナ破損の原因となります。
- ●フィルムアンテナを強くこすり過ぎると破損する恐れがありますので注意してください。

7 アンテナセレクタの取付位置を決める

① **アンテナセレクタ（印刷の無い面）に両面テープを貼り付ける。**

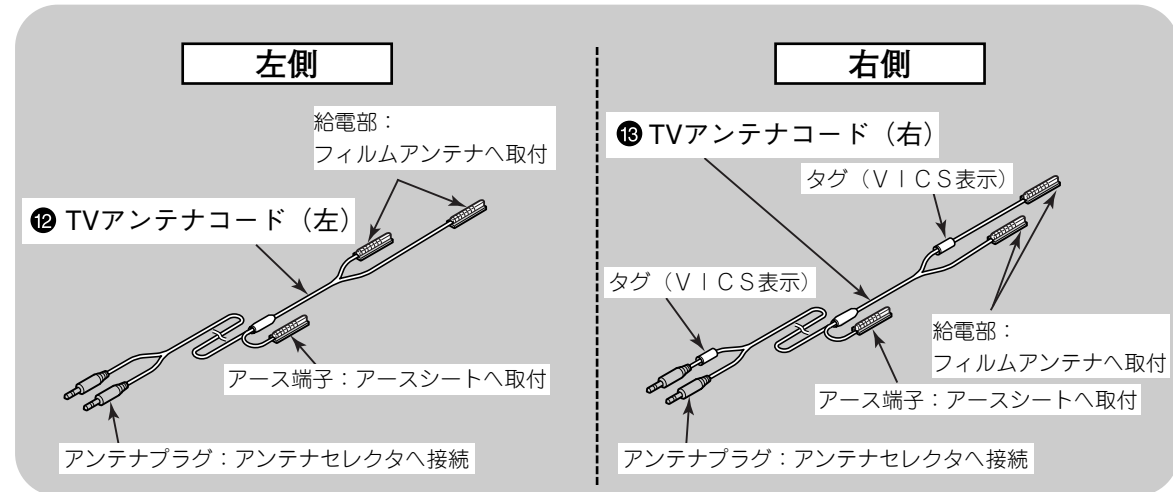
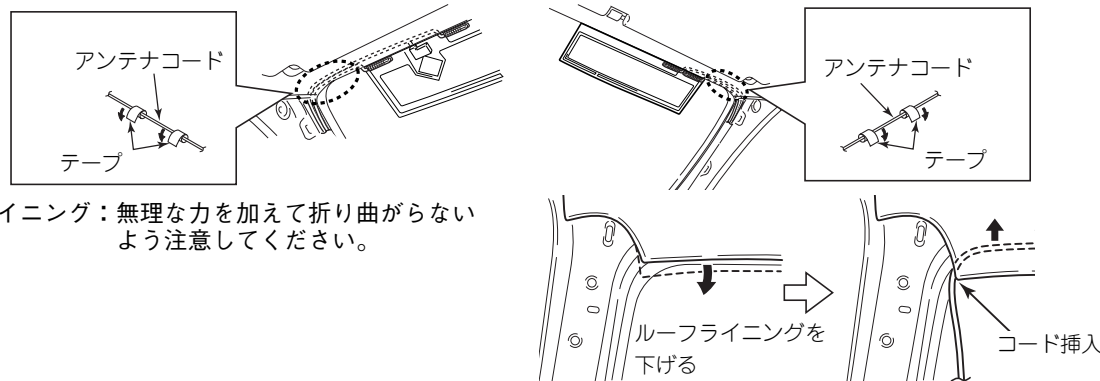
② **アンテナセレクタの出力コードがメインユニットへ届く範囲内にアンテナセレクタ取付位置（助手席足元カーペット下等）を決める。**

8 アンテナセレクタを取り付ける

① **アンテナセレクタを助手席足元カーペット下のフロア部分に取り付ける。**

② **アンテナセレクタのアースコードをボディアースのとれる金属部分へ取り付ける。**

- ●貼り付ける前に貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分にふき取ってください。

●アンテナコードの配線について

お願い

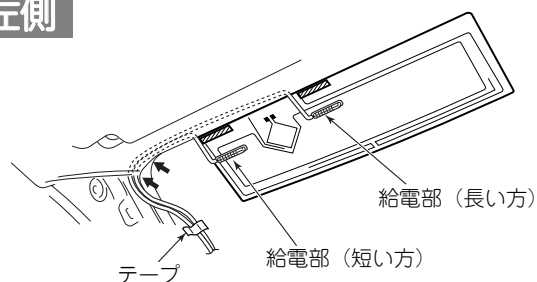
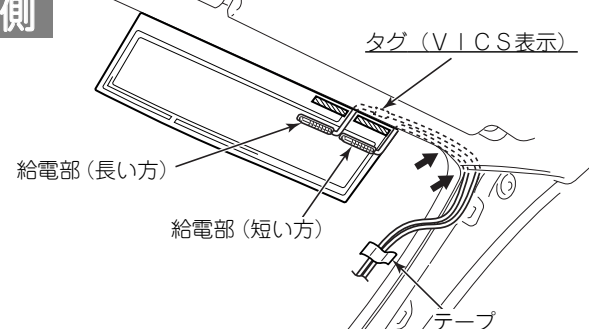
●TVアンテナコードの左右および各取付先を確認してください。
●VICS表示（タグ）のあるコードは必ず右側に使用してください。

●アンテナコード：強く引っぱたり、ストレスやかみ込み等がないようにしてください。
ルーフライニングからはみ出す場合は、テープを巻き付けてルーフライニング内に収めてください。

●ルーフライニング：無理な力を加えて折り曲がらないよう注意してください。

1 TVアンテナコードをルーフライニングの中に押し込む

① **TVアンテナコードをガラス面にテープで仮固定する。（作業中のコードにかかる負担を軽減させるため。）**

② **フィルムアンテナの車両内側端子ベースにコードが長い方の給電部を、短い方を車両外側の端子ベース位置に合わせて、コードの長さを調整する。**

③ **ルーフライニングの端の部分を少し下げ、コードをルーフライニング内に押し込む。**

お願い

●ここではまだ、給電部をフィルムアンテナに<u>貼り付けない</u>でください。
●TVアンテナコードの左右を間違えないように注意してください。

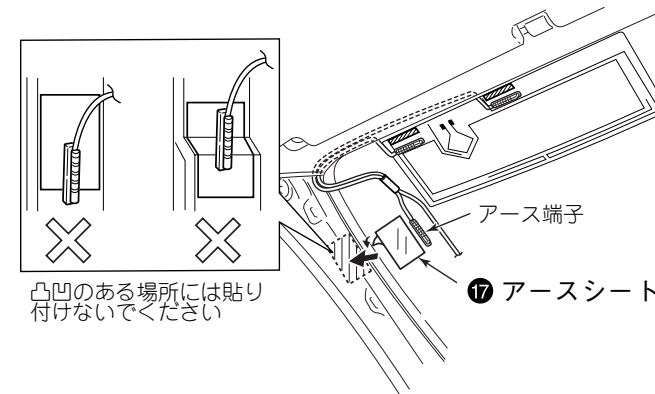
右側アンテナコード：VICS表示タグ付き

左側

右側

2 TVアンテナコードのアースシートを貼る

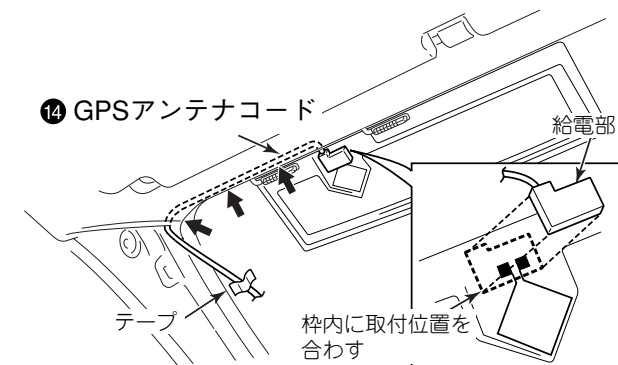
① **TVアンテナコードのアース端子が届く範囲内にアースシートを貼り付ける。**

●車両の平面な金属部分にアースシート全体を貼り付けてください。平面でない部分やクリップ穴部、ネジ穴部等へは貼り付けないでください。
●アース端子が、アースシートからはみ出したり、貼り付いていない部分が無いようにしてください。
●ボディの塗装をはがさないでください。
●右側のアンテナコードも同じように作業を行ってください。

3 GPSアンテナコードをルーフライニングの中に押し込む

① **GPSアンテナコードをガラス面にテープで仮固定する。（作業中のコードにかかる負担を軽減させるため。）**

② **給電部をフィルムアンテナの端子ベース位置に合わせて、コードの長さを調整する。**

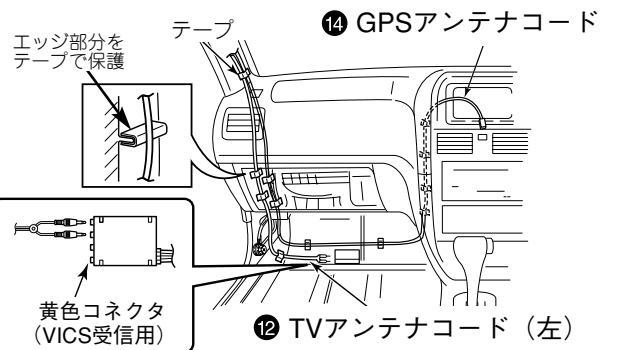
③ **GPSアンテナコードをルーフライニング内に押し込む。**

お願い

ここではまだ、給電部をフィルムアンテナに<u>貼り付けない</u>でください。

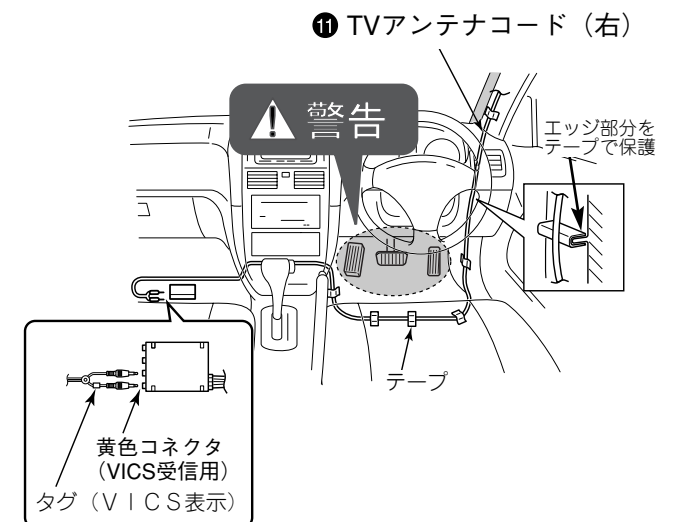
4 TVアンテナコード（左）およびGPSアンテナコードを配線する

① **TVアンテナコード（左）をテープで固定しながらアンテナセレクタ取付位置まで配線し、アンテナセレクタに接続する。**

② **GPSアンテナコードをテープで固定しながらオーディオ取付位置まで配線する。**

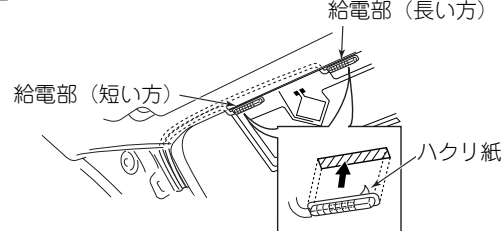
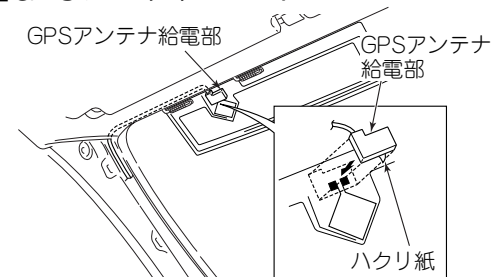
●車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にテープを貼り付けてください。
●車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。
●アンテナセレクタの接続先を間違わないでください。
※黄色コネクタは、<u>VICS受信用</u>です。

5 TVアンテナコード（右）を配線する

① **TVアンテナコード（右）をテープで固定しながらアンテナセレクタ取付位置まで配線し、アンテナセレクタに接続する。**

●車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にテープを貼り付けてください。
●車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。
●アンテナセレクタの接続先を間違わないようにしてください。
※黄色コネクタは、<u>VICS受信用</u>です。

⚠ 警告	コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

●アンテナコード給電部の貼り付け

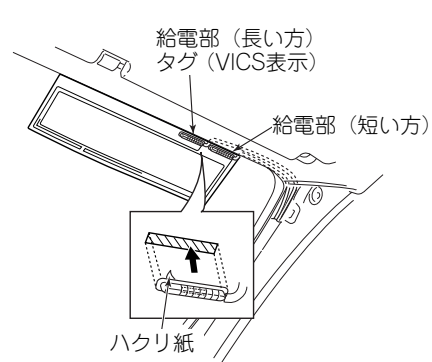
1 給電部をフィルムアンテナの端子ベースに貼り付ける

① 各コードの配線を終えてから、給電部をフィルムアンテナの端子ベースに貼り付ける。

●給電部はフィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから貼り付けてください。
乾く前にフィルムアンテナを貼り付けるとはがれる場合があります。
●給電部のハクリ紙をはがしてからフィルムアンテナに貼り付けてください。
●給電部の貼り直しはしないでください。

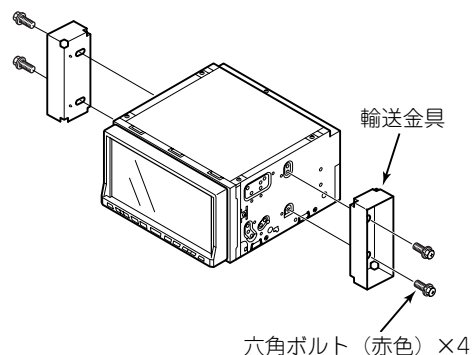
左側

■TVアンテナコード

右側

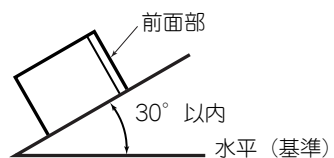
■TVアンテナコード

●メインユニットを取り付ける前に

1 輸送金具を外す

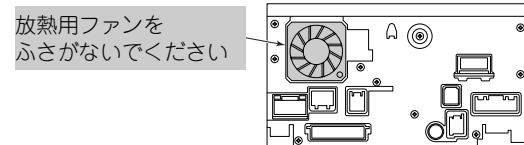
●取り外した六角ボルト（赤色）は、取り付けに使用します。

お願い

●センターコンソールの形状によっては、シフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。

自車位置ズレや音飛び・イジェクト不良等の原因になります。

●放熱用のファンをふさがないでください。

放熱を妨げないようメインユニット取り付けの際は、背面のファンを車両ハーネス等でふさがないように注意してください。

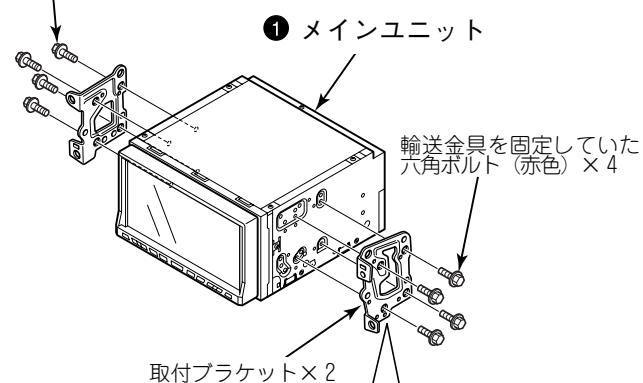
放熱用ファンを
ふさがないでください

●メインユニットの取り付け

1 車のオーディオ、小物入れを取り外す

① 車のオーディオ、小物入れなどを取り外す。

② オーディオ、小物入れなどを取り付けているブラケットを取り外す。

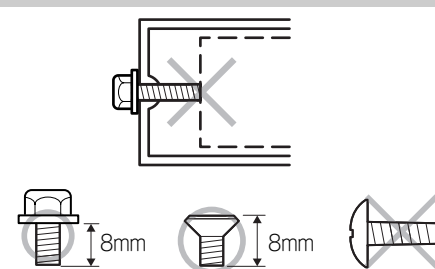
●オーディオの取り外し方、取り外すねじの位置や数、使用する取付ブラケットは、車種により異なります。
詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。

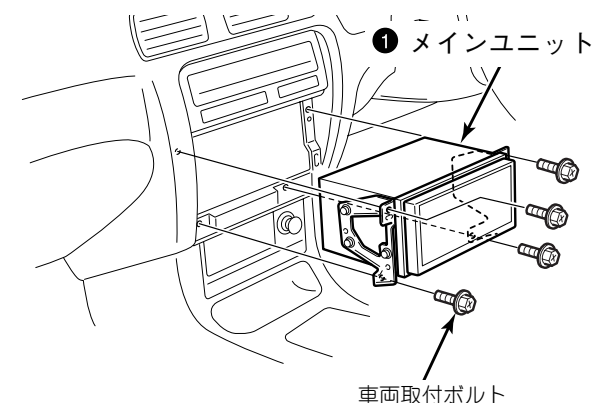
2 メインユニットにブラケットを取り付ける

❺ 六角ボルト（赤色）（M5×８）	❻ 皿ねじ（赤色）（M5×８）

取付ブラケットのねじ穴形状に合わせてねじを選んでください。

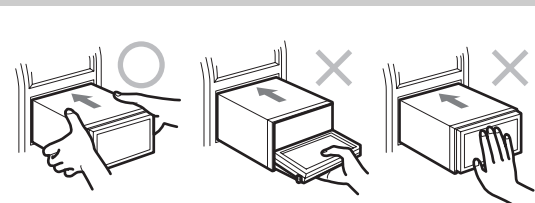
お願い

●必ず付属のねじを使用してください。

取付ねじは、必ず付属のねじ（赤色/M５×８）を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。

3 メインユニットを車に取り付ける

●メインユニットを取り付ける前に各コードを接続してください。

お願い

●ディスプレイを手で押さえないでください。

車に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ（表示部）やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ（表示部）やボタンが破損する恐れがあります。

●接続のしかた（1）

アドバイス

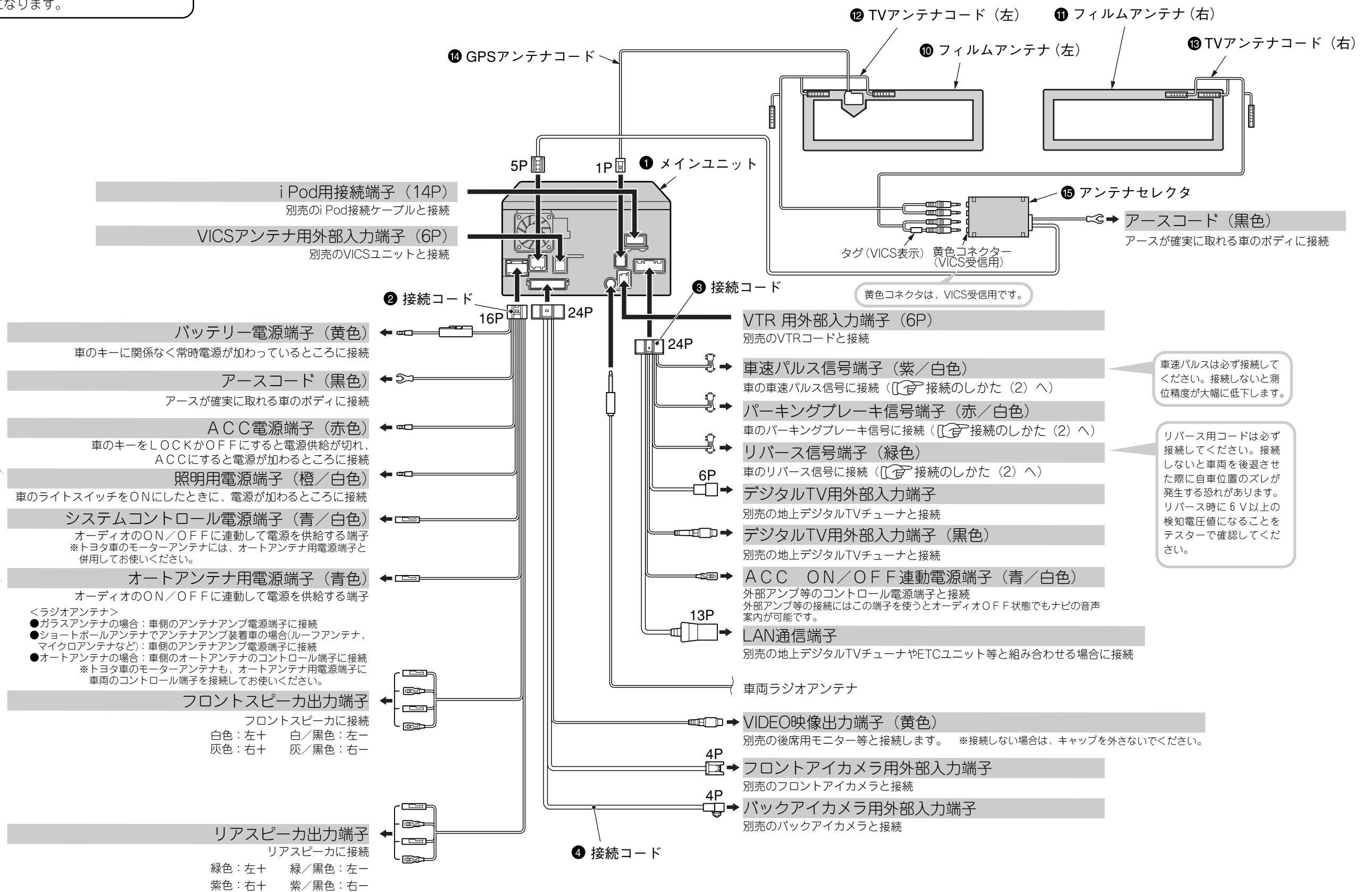
接続しない場合は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。
絶縁処理をしないと誤作動の原因になります。

◆レオスタット（照度調整スイッチ）装着車の場合

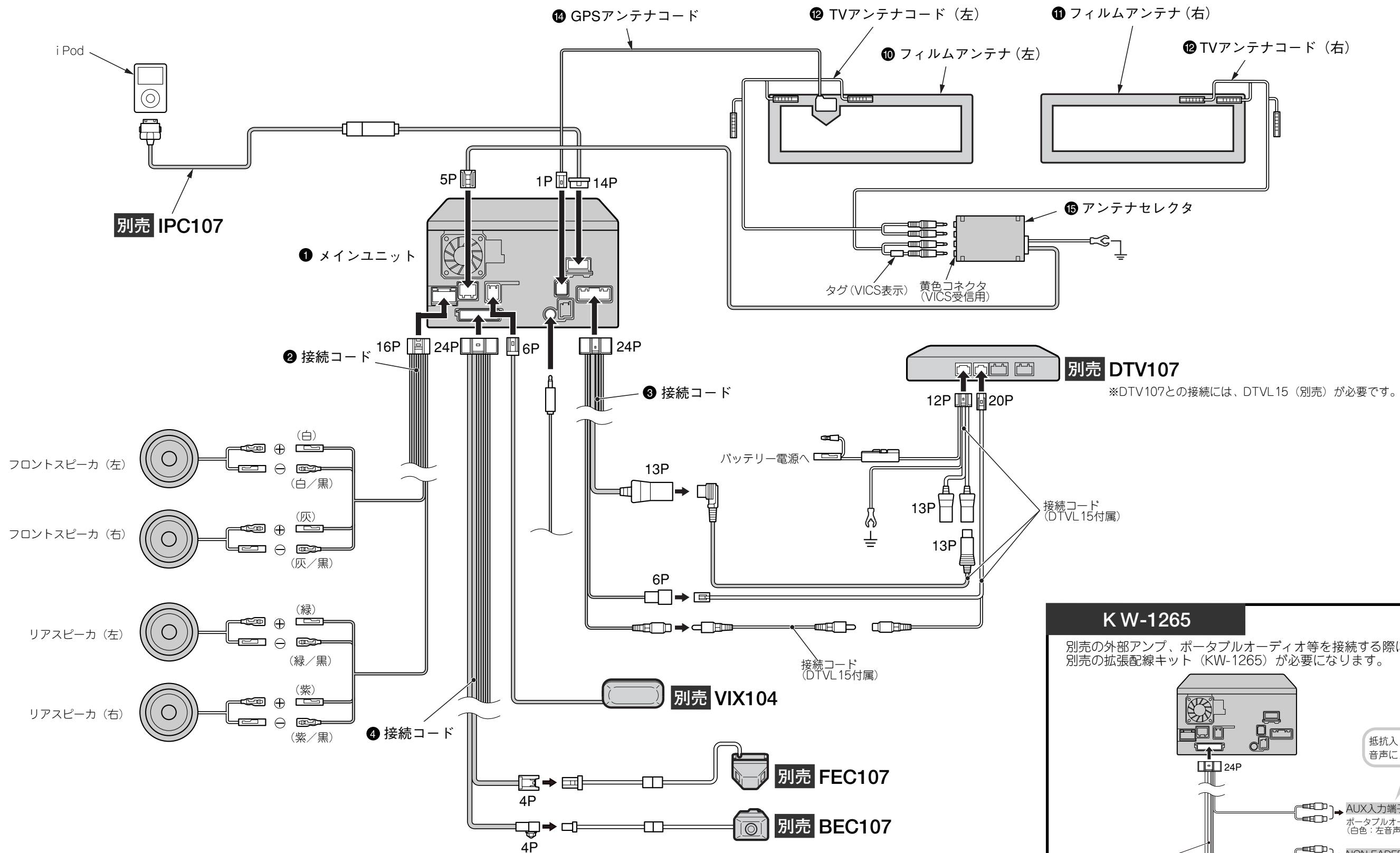
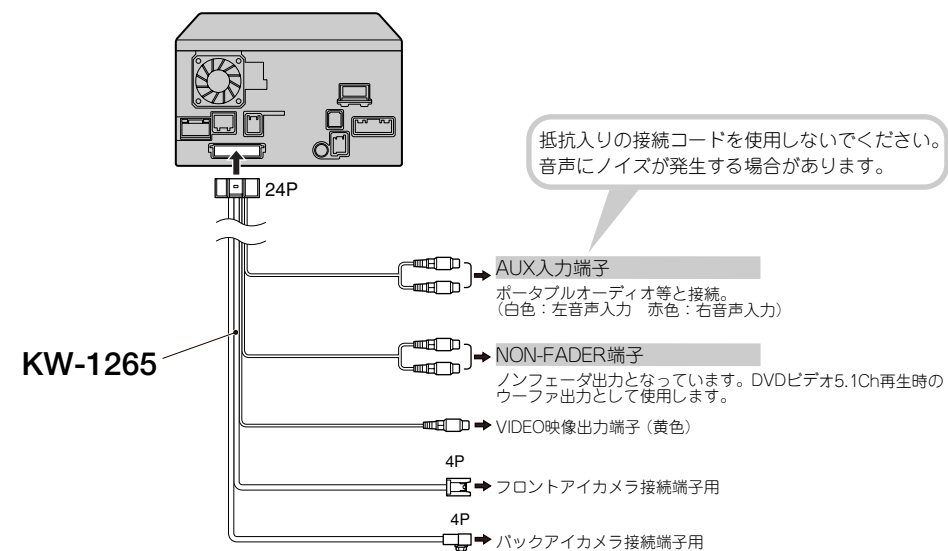
照度調整により照明用電源の電圧が変動する場所にメインユニットの照明用電源を接続しないでください。接続するとライトのＯＮ／ＯＦＦにより『昼画表示』と『夜画表示』に切り替わらない場合があります。必ずスモールライトなど照明用電源の電圧が変動しない場所に接続してください。

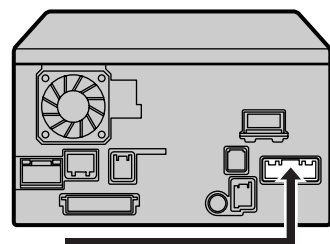
◆オートアンテナ車の場合

本機は緊急放送受信機能（＊1）を持っているためラジオ以外のソースを使用している場合でもアンテナは下がりません。アンテナを下げる場合はオーディオをＯＦＦにするか、もしくは本体の「ラジオアンテナの設定」画面から操作をしてください。（☞詳しくは、取扱説明書を参照してください。）

＊1：
ＦＭ多重放送の緊急放送を受信したとき、自動的に緊急情報に番組が切り替わる機能です。

●システム接続例

接続する機器の取付説明書を確認して取り付けおよび配線を行ってからメインユニットに接続してください。

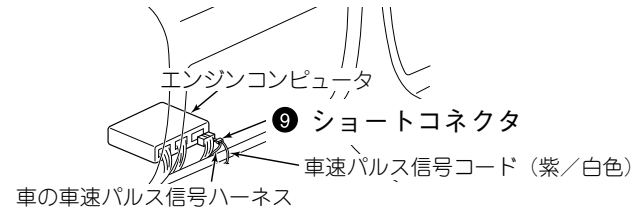
●車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。

●iPod は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
●iPod および i Tunesは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

●接続のしかた（2）

車速パルス信号、パーキングブレーキ信号、リバース信号の取り出し

注意
●信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは、お買い上げの販売店または自動車ディーラーにお問い合わせください。
●必ず付属のショートコネクタを使用して接続してください。指定外のショートコネクタを使用すると接触不良の原因になります。

車速パルス信号端子
（紫／白色コード）

❾ ショートコネクタ

車の走行を検知するために接続します。

車の車速パルス信号ハーネスに接続してください。

※車速パルス信号端子を接続しないと測位精度が大幅に低下します。

パーキングブレーキ信号端子
（赤／白色コード）

❾ ショートコネクタ

車の停車状態を検知するために接続します。

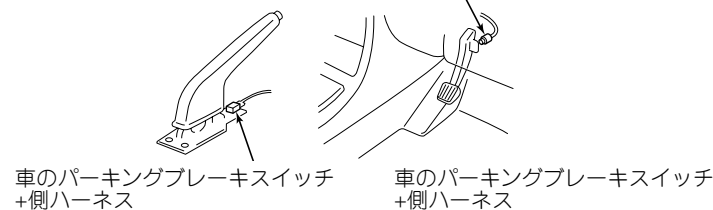
車のパーキングブレーキスイッチの+側ハーネスに接続してください。

例1）パーキングブレーキがハンドブレーキの場合

例2）パーキングブレーキがフットブレーキの場合

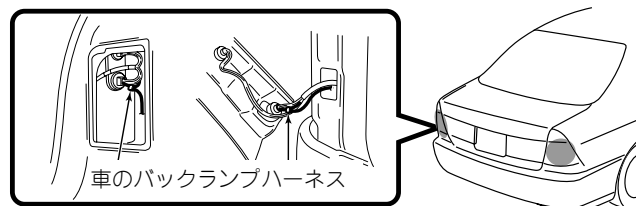
車のパーキングブレーキスイッチ+側ハーネス

車のパーキングブレーキスイッチ+側ハーネス

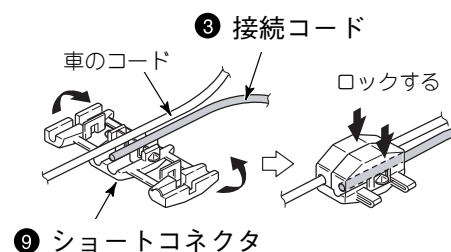
リバース信号端子
（緑色コード）

❾ ショートコネクタ

車の後退を検知するために接続します。

車のバックランプハーネス等（シフトレバーを「R」の位置にしたときに電圧が変化するハーネス）に接続してください。

●シフトレバーを「R」にした時に6V以上の検知電圧値になることをテスターで確認してください。

※リバース信号端子を接続しないと車両を後退させた際に自車位置のズレが発生する恐れがあります。

ショートコネクタの使用方法

① 接続コード❸と車のコードをショートコネクタに挿入する。
② ショートコネクタのふたをかぶせプライヤやペンチ等でロックがかかるまではさみ込む。

●取り付け後の作動確認

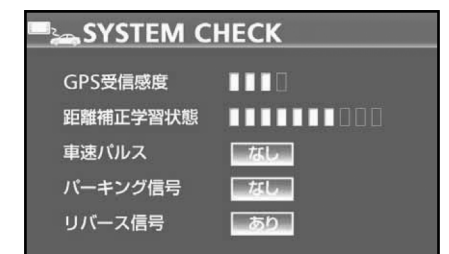
1 車のエンジンをかけナビゲーション画面を表示させる

●ナビゲーション画面が表示するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
●シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車のエンジンをかけてください。

2 見通しの良い場所で各信号の接続状態を確認する

① MENU ボタンを押し、 情報 にタッチする。

② 情報画面で ページ切換 にタッチし、画面を切り換える。

③ SYSTEM CHECK にタッチし、それぞれの接続状態を確認する。

お願い

●GPS
しばらく経ってもGPS受信感度の表示が変わらないときは、GPSアンテナの接続状態を確認してください。

●車速パルス
SYSTEM CHECK画面で走行すると車速パルスが“なし”から“あり”に表示が変わります。
表示が変わらないときは、車速パルスの接続状態を確認してください。

●パーキングブレーキ信号
パーキングブレーキの「ON」「OFF」で“なし”から“あり”に表示が変わります。
表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。

●リバース信号
バックギヤシフトの「ON」「OFF」で“なし”から“あり”に表示が変わります。
表示が変わらないときは、リバース信号の接続状態を確認してください。

090003-2977A700
0705（CN）
この説明書は、再生紙を使用しています。

この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。